

## 令和5年度 港区立白金の丘学園経営計画

港区立白金の丘学園  
校長 三浦 和志

### 学園経営計画

#### 基本方針（重点目標・中期的目標）

- ・公立小中一貫教育校における、児童・生徒一人ひとりの学びの保障に努める。
- ・前例踏襲（蓄積）から新規創造（発想）で、全教育活動の実施形態を工夫する。
- ・中1ギャップの解消と小中のスムーズな接続のため、小学校の教科担任制の実施と中学校の校則の見直しを図る。

#### 教育目標

- 相手を思いやり 礼節ある人
- 自ら学び 自ら考え 自ら行動する人
- よく運動し 強い心と健康なからだをつくる人

**目指す学校像** 「のびのび学ぶ やさしい学園」～校訓：「9年間の笑顔と真剣」～

「地域とともにある学園から地域に根差した学園へ」～CSとして～

**目指す児童像** 「協働的に問題解決に取り組む白丘っ子」～対話（聞く）を通して～

- 思いやりのある子
- ともに歩む子（人にやさしく、自分にやさしく）

**目指す教師像** 「自ら学ぶ者のみが教えられる」

- 自らを磨き、協働して学び続ける教師
- 児童・生徒の心を灯火する熱意あふれる教師
- 保護者、町会・地域との緊密な連携を重んじる教師
- コンプライアンス（法令遵守）意識が高い教師

#### 目指す学校像の実現に向けて

「すべての教育活動で人権教育、特別支援教育、安全教育を！」

～言語教育と規範教育を基盤（対話）に良好な人間関係づくりを構築する～

#### 具体的な方策

- 1 特別支援教育 「自立活動を啓発し、集団適応能力の伸長を目指す」
  - ・早期支援の視点で、校内委員会を中心に、「けやきルーム」の入退室や学習支援員の配置について、組織的に協議・対応する。

- ・「けやきルーム」を中心として、特別な支援・配慮が必要な児童・生徒に対する「自立活動の啓発」や「集団適応能力の伸長」等、個に応じた自立支援の充実を図る。
  - ・特別支援コーディネーターを中心として、すべての教員が特別支援教育に関する基礎的な知識・技能を身に付け、児童・生徒理解を促進させる研修会を企画・運営する。
- 2 学力体力向上 「対話（聞く）を通して協働的に問題解決する力を育てる」
- ・小学校（高学年）の教科担任制の導入を通して、より専門性の高い授業の実現と指導体制に慣れることにより、中1ギャップの解消に努める。
  - ・図書館司書と連携し、学校図書館をセンターとして、読み聞かせ（小）や朝読書（小中）等、さまざまな読書活動を通して、本との時間の楽しさを分かち合わせる。
  - ・授業や体育朝会を中心に、運動習慣を身に付け、体力・運動能力の向上を図る。
  - ・学力向上を図るために、校内研究を通して、「主体的・対話的で深い学び」の実現や「考え、対話し、自問（内省）する授業」の実践による授業改善を行う。
  - ・学力体力向上のエネルギー源は、バランスの良い食と正しい食習慣にあると考える。日頃の食育を通して、感謝の気持ちをもって、給食やお弁当をいただく姿勢と態度を育成する。
  - ・部活動指導員を活用・連携して、児童・生徒の体力向上や技能の習得と教員の「働き方改革」を進める。
- 3 安全と防犯・防災 「安全があってこそその安心」
- ・恵まれた教育環境と地域環境に対応した安全指導を工夫し、より実践的な避難訓練を計画・実施する。
  - ・「地域安全マップ」の定期的な点検や交通安全教室及び安全指導（月1回）により、安全教育を推進する。
  - ・セーフティー教室、薬物乱用防止教室及び避難訓練（月1回）により、防犯・防災意識を向上させる。
  - ・熱中症や感染症、犯罪や災害等、不測の事態に組織的に対応し、保護者・地域、関係諸機関に的確な情報を発信する。
- 4 生活指導 「規範教育の励行による予防的な生活指導の実践」
- ・改訂された生徒指導提要进行を基に、「白金の丘スタンダード」（小学校）の凡事徹底と校則の見直しや公開（中学校）により、保護者・地域に情報発信し、児童・生徒の規範意識の向上や主体的にルールを守る態度を育成する。
  - ・ごはしじゅう（はくしゅ・はきもの・はたらく・はいぜん・「はい」という返事）の励行により、規範教育を周知・徹底する。※「廊下歩行」の徹底
  - ・生活指導重点項目：「あいさつ（会釈）・返事」「身だしなみ」◎「ことば遣い」「時間厳守」※ノーチャイムの生活環境を生かし、始業時間を守らせることにより、時間への意識を高める。◎今年度重点項目
- 5 特色ある教育活動 「学校運営協議会並びに「おかサポ」と連携した教育活動」
- ・学校運営協議会並びに地域学校協働活動（おかサポ）とPTAが連携して、教員や児童・生徒のサポートを通して、特色ある教育活動を展開する。

#### 主な活動

小学校：図書活動（読み聞かせ 読書感想文講座）、夏季学習会、郷土学習等

中学校：部活動支援、定期考査前学習会・長期休業補習、英検・漢検・数検支援等  
・これまで培った各企業・団体とのネットワークや家庭・地域との連携を生かした体験的な活動を、「学校2020レガシー」として継続・発展していく。

・大学企業と連携した、SDGsについての系統的な取り組みを通して、環境保全の意識を高め、将来の持続可能な社会の創り手となる児童・生徒を育成する。

・ビオトーププロジェクト「笑顔の森構想」の実現を通して、環境教育の充実や保幼・小中の連携を深めていく。

・開校10周年式典や記念行事開催に向けて、意図的・計画的に準備を進める。

## 6 教育相談 「いじめ、差別、仲間はずれをしない、させない、見過ごさない」

・定期的なアンケート調査と校内委員会（随時開催）を中心に、いじめの早期発見に重点を置き、「予見・早期発見・早期解決」に向け組織的に対応し、「いじめ、差別、仲間はずれをしない、させない、見過ごさない」を具現化する。

いじめ発見・未然防止に向けての校風づくり 「正しいことば遣い」の励行

・「封印ことば」「許されないことば」を通して、人権意識を高めるとともに言語教育を推進する。

※「封印ことば」：うざい・きもい、死ね・殺す、バカ・ばい菌 ←人格・存在を否定することば、表現 「そのことば、自分に言えますか」

※「許されないことば」：家族のこと、身体や病気のこと、国や文化の違い等をからかう、安易に動物にたとえる等

・SC（都・区）、養護教諭を中心に、子育て相談や子供の悩み等のカウンセリングを通して、児童・生徒、保護者に寄り添う教育相談体制を充実させる。

## 7 保幼・小中一貫教育 「小学校は就学前教育と中学校のジョイント」

・小中一貫教育校の強みを生かし、幼・小中一貫教育（「白金の丘アカデミー」）の研究活動を通して、白金の丘中学校への進学率をUPさせる。

・三光幼稚園や近隣保育園との交流を深め、保幼小連携やスタートカリキュラムの学習を生かし、幼児教育と義務教育との接続を図る。

## 8 その他

・学校だより、学年だよりの配信、Twitter や学校HPのリアルタイムな更新を図り、区民、地域にも積極的に情報発信する。

・校内掲示物（月目標、学校・学年便り、ポスター等）は、新鮮なものでなければならない。

・来校者や電話対応に教職員一人ひとりが接客意識をもち、区民、地域からの声にも迅速に丁寧に対処する。

・サービス事故未然防止に向け、意図的・計画的に校内研修会の実施し、教職員一人ひとりのサービス規律の意識を高め、サービス事故を0（ゼロ）にする。

・長期休業中の閉庁日や脱印鑑、ペーパーレス化等、「働き方改革」を具現化し、教職員がいつも元気で明るく児童・生徒に向き合い、寄り添えるようにする。

・学校運営協議会に承認された学園経営計画の具現化に、教職員が一丸（チームビルディング）となって取り組み、「活気とチームワークの白金の丘学園」と称される学園経営を進める。